

性犯罪に注意！

平成29年の市内の性犯罪発生認知件数は8件で、前年と比べて3件減少しています。

性犯罪は、被害に遭うと身体的にも精神的にも大きなダメージを受けてしまいます。自分の身を守るためには、「自分は大丈夫！」という考えは危険です。正しい防犯知識を持ちましょう。

犯行の手口の一例

- ◆鍵がかかっている場所から侵入し、就寝中を襲う。
- ◆帰宅中の被害者をつけて行き、人目のない暗い場所で襲う。
- ◆後方からいきなり「口をふさぐ」「抱きつく」などして、人気のない場所に連れ込む。
- ◆被害者が自宅玄関で鍵を開けた瞬間、室内へ押し込む。
- ◆マンションのオートロックが空いているときに、住民を装ってエントランス内に侵入し、死角となる場所に連れ込む。



被害に遭わないための対策

帰宅時

- ◇人通りの多い場所や明るい場所を歩くようにする。
- ◇友人や同僚などと行動する。
- ◇夜間の帰宅は迎えに来てもらう。タクシーで帰るときは玄関口まで乗りつける。
- ◇コンビニなどに夜間立ち寄ったときには、連れがいないかどうかを犯人が観察していることが多いので、特に注意する。
- ◇やむを得ず一人で帰宅するときには、時折周囲を見回すなど、警戒していることをアピールする。

エレベーター

- ◇乗る前に周囲を確認する。
- ◇知らない人と二人きりになったら、非常ボタンがすぐに押せて、周囲が見える場所に立つ。

自宅

- ◇家に入る前には、周囲に知らない人がいないかを確認する。
- ◇帰宅したら靴を脱ぐ前に鍵を掛ける。
- ◇高層階でもベランダ窓からの侵入に注意し、ベランダ窓には必ず鍵を掛ける。

問い合わせ先

安全安心課生活安全担当

☎(580)1898

老朽化した危険な空き家の解体に

最大50万円を補助します

地域の安全で安心な住環境の確保と良好な景観の維持を図ることを目的に、老朽化した危険な空き家などの除却工事に対して、工事費の一部を補助します。

●対象となる建物 次の要件を全て満たすもの

- ◇老朽化した危険な建物で使用されていらない空き家
- ◇木造または軽量鉄骨造で居住用の建物
- ◇所有権以外の他の権利が設定されていない建物（権利者から承諾を受けた場合を除く）
- ◇賃貸借契約が締結されていない建物
- ◇市の老朽危険度判定基準の評定100点以上の建物

●対象者 建物の所有者、相続人

- ※次の人は対象外
- ◇法人◇暴力団および暴力団員と密接に関係のある者◇市税滞納者

●補助金額 除却工事費の2分の1

で、50万円が上限

※補助額の千円未満は切り捨て

●対象件数 3件程度



●注意事項

- ◇申請の前に事前相談が必要
- ◇すでに除却工事に着手している場合は対象外
- ◇2月中旬までに除却工事を完了することが必要

●申込方法 ◇FAX◇メール◇送付◇直接窓口で提出

※様式は市ホームページからダウンロード

●申し込みと問い合わせ先

安全安心課生活安全担当

☎(580)1898

☎(572)8432

✉daijizen@city.onojo.fukuoka.jp